



国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力協定 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

1. 国際会議

1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2002年 10月30日～11月1日	大 洗	「JNC/CEA（フランス原子力庁）先進技術協力協定調整会合」 「日欧高速炉協力合同調整委員会（EJCC）会合」及び「日仏政府間専門家会合」
11月26日～11月28日	東 濃	「JNC/NAGRA（スイス放射性廃棄物処分共同組合）超深地層研究所計画に関する技術的支援に係る技術検討会議」及び「試錐孔における地質・推理調査に関する技術ワークショップ」
12月11日～12月13日	本 社	「日欧高速炉協定に基づく第5回ナトリウム技術専門家会議」

1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2002年 9月30日～10月3日	露 国 デミトロフグラード	「解体プルトニウム処分のためのBOR-60照射試験研究」に関する打合せ
10月8日～10月11日 11月4日～11月8日	露 国 デミトロフグラード	「解体プルトニウム処分のためのBN600用MOX振動充填燃料集合体の製造及び照射実証試験研究」に関する打ち合わせ
10月10日～10月11日	仏 国 パリ	「OECD/NEA（経済協力開発機構原子力機関）廃止措置に関する技術協力プログラム連絡会議」
10月21日～10月22日	韓 国 ソウル	「第1回アジアオセアニア放射線防護会議」
10月21日～10月25日	中 国 深 圳	「第13回環太平洋原子力会議」
10月23日～10月25日	独 国 ベルリン	原子力安全に関する国家アドバイザー委員会仏独日米4極会議」
11月4日～11月9日	英 国 セラフィールド、ハッ エル	「JNC/BNFL（英国原子燃料会社）先進技術協力協定」に基づく情報交換会合
11月5日～11月6日	ベルギー モル	「α放射性各種含有ガラス固化体を用いた原位置試験研究」に関する会議
11月18日～11月20日	スウェーデン オスカーシャム	TRUE Block Scale 運営委員会及び試験技術委員会
12月2日～12月4日	仏 国 アピニョン	もんじゅ-Phenix情報交換会合
12月2日～12月5日	米 国 ワシントン	第4世代原子力システムの開発に関する核拡散抵抗性・核物質防護専門家会合
12月3日～12月4日	米 国 バークレー	「熱・水・応力連成現象に関する国際共同研究」に関するタスクフォース会議

2. 海外派遣・留学

2002年度第3四半期の海外派遣・留学なし

3．主要外国人の来訪

訪 問 日	訪問場所	訪 問 者
2002年 7月2日～7月5日	東 海 東 濃 幌 延	中国核工業集团公司（CNNC）地質局 李局長
9月18日	東 海	米国DOEカード次官
9月20日	東 京	仏国CEAコロンバニ長官

4．国際協力協定

仏国原子力安全・放射線防護研究所（IRSN）との「原子力先進技術の研究開発分野における取極め」の締結（5年間）

2002年11月15日、仏国原子力安全防護研究所（IPSN）が放射線防護局（OPRI）と統合されたことに伴い、現行のIPSNとの取極めを失効させ、新たにIRSNと取極めを締結。

5．余剰兵器解体プルトニウム（解体プル）処分協力

（1）ロシア物理エネルギー研究所（IPPE）との共同研究契約に基づき、BFS-2（臨界実験装置）を用いた臨界実験及び臨界実験結果の解析評価を実施している。

（2）ロシア原子炉科学研究所（RIAR）との共同研究契約に基づき、解体プルを用いた3体の試験燃料集合体の照射試験が終了し、現在、冷却のため炉内貯蔵ラックで保管されている。2003年2月に照射後試験を開始する予定である。

（3）ロシア実験機械製造設計局（OKBM）との共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心化のための炉心及び燃料設計を実施している。

（4）IPPEとの共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心化に際してその安全性について、評価及び解析を実施している。

（5）RIARとの共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備の改造等について実施している。

（本社：国際・核物質管理部）